



2023年 事業報告書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

認定特定非営利活動法人 ひこばえ

1. 事業実施の成果

2009年以來、夫や恋人など親しい人からの暴力(DV)により傷つき、自分らしく生きることが困難になった女性達への自立援助を継続してきました。それにより2023年7月30日には社会貢献財団様より「社会貢献者賞」を、また2024年1月16日には群馬県警察本部様より「感謝状」を頂きました。これまでひこばえで共に活動し努力してきた下さった会員の皆さま方の賜として有難くお受け致しました。



これまでの社会では「DV」の活動は理解されず、「女が悪い」と言われてきました。2001年に「DV法」が制定されて以来、DV相談件数もうなぎ登りに増え、今や全国で年間18万件(2020年)もの相談が寄せられています(内閣府)。こんなにも！と驚きです。被害女性を逃がすだけではなく、「自分は被害者だ」と思い込んでいる加害者の意識を変えていく教育が必要です。「加害者更生教育プログラム」がそれです。

①「DV防止部門」では、若いうちから「DV」や「デートDV」の教育が必要な県内5カ所の高校の生徒に「デートDVファシリテーター」がその講義と実習を行いました。高校生達は「怖い」と驚いていましたが、「大人になったら気を付けたい」「恥ずかしいがちゃんとNOと言える人になりたい」と真剣に耳を傾けていました。

②DVや性虐待等にあうと、他人に話すこと自体ためらわれます。そこで7月から、ひこばえの新事業として「LINE相談」を開設しました。今やインターネット時代となり誰もが携帯を利用しています。面接等よりも気を遣わないで自分を語れる「LINE相談」で負担をなくし、被害を少なくしたいと考えました。まだ登録者数は少ないのですが順調に対応しています。



③世の中も複雑になると、「面会交流」支援も複雑になってきます。特に「共同親権」の問題が絡んできているので、同行支援員もその調節に苦労しています。

④多様化する社会の中でのひこばえの役割を見直すために、SDG's(持続可能な開発目標)について「アンカンミンカン」の富所哲平さんをお招きしてお話を伺った。ひこばえの活動もその中の6項目程度に当てはまることがわかり、これからは無関心ではいられないと感じました。未来を見据えての環境問題にも関心を持ちつつ、女性や子ども達がこの社会の中で自分らしく生きていけるように、



「ひこばえ」は活動を継続してやっていくことが求められていると改めて感じました。

(茂木直子)



2、事業実施に関する事項


事業名	2023年度 相談部門 事業報告	実施日時	実施場所	従事者	受益対象者 範囲及人数
	<p>リーダー：小俣久美子 サブリーダー：田嶋 恭子 会 計：原野 浩美</p>				
内 容 ① 無料 相談 電話	<p>↓ 女性専用無料電話相談 相談件数100件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までと比べると件数は少なくなった。 ・外出が困難な女性、孤立している女性、子育て等で不安を抱えている女性からの電話相談があった。 ・定期的に生きづらさをかかえている女性からの電話も継続している。 <p>相談時間は50分ぐらいと決めてはいるが、90分ぐらいになってしまう人たちもいた。</p>	月～金 10:00 ～16:00	ひこば え相談 室	5人	群馬県内 の 一般女 性、(100 件)
② 電話 カウンセ リング	<p>↓ 電話カウンセリング 担当：小俣 久美子（認定カウンセラー） 継続的に電話でカウンセリングを実施している。 予約制で実施。</p>	毎週金曜 10:00 ～16:00	ひこばえ 相談室	1人	群馬県内 の一般女性 (46件)
③ DV相 談+	<p>↓ 内閣府「DV相談+」の受託 コロナ禍に伴いDVの増加・深刻化に対応するために、全国的に電話及びSNS相談を受ける。被害者の安全を確保し、社会資源につなげるための同行支援、緊急保護等の支援を提供する。</p>	毎月 8回 9:00 ～15:00	ひこば え相談 室	7人	全国DV 被害女性 (535 件)
④ 面接 事業	<p>↓ 個人面接 ・カウンセリング 担当：茂木 直子（認定心理士） 松本 晶子（認定心理士） 大変な状況を生きてきた方々の相談に随時対応。 相談者は守秘義務を守り、受容共感を旨として傾聴している。</p>	随時 面接時 間 1時間	ひこば え面接 室	2人	群馬県内 の一般女 性 (8件)
⑤ 相談員・ 支援員研 修事業	<p>↓ 相談員・支援員のための研修会 ・オリーブの家主催の「スキルアップ研修」（令和5年4月～令和6年3月）ひこばえは8月から受講 ひこばえは、令和5年8月から毎月1回参加。</p>	全8回	ひこば え事務 所及び ZOOM	3人	相談員・ 支援員 延30名



2、事業実施に関する事項

事業名	2023年度 相談部門 事業報告	実施日時	実施場所	従事者	受益対象者 範囲及人数
	<p>リーダー：小俣久美子 サブリーダー：田嶋 恭子 会 計：原野 浩美</p>				
内 容 ① 無料 相談 電話	<p>↓ 女性専用無料電話相談 相談件数100件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までと比べると件数は少なくなった。 ・外出が困難な女性、孤立している女性、子育て等で不安を抱えている女性からの電話相談があった。 ・定期的に生きづらさをかかえている女性からの電話も継続している。 <p>相談時間は50分ぐらいと決めてはいるが、90分ぐらいになってしまう人たちもいた。</p>	月～金 10:00 ～16:00	ひこば え相談 室	5人	群馬県内 の 一般女 性、(100 件)
② 電話 カウンセ リング	<p>↓ 電話カウンセリング 担当：小俣 久美子（認定カウンセラー） 継続的に電話でカウンセリングを実施している。 予約制で実施。</p>	毎週金曜 10:00 ～16:00	ひこばえ 相談室	1人	群馬県内 の一般女性 (46件)
③ DV相 談+	<p>↓ 内閣府「DV相談+」の受託 コロナ禍に伴いDVの増加・深刻化に対応するために、全国的に電話及びSNS相談を受ける。被害者の安全を確保し、社会資源につなげるための同行支援、緊急保護等の支援を提供する。</p>	毎月 8回 9:00 ～15:00	ひこば え相談 室	7人	全国DV 被害女性 (535 件)
④ 面接 事業	<p>↓ 個人面接 ・カウンセリング 担当：茂木 直子（認定心理士） 松本 晶子（認定心理士） 大変な状況を生きてきた方々の相談に随時対応。 相談者は守秘義務を守り、受容共感を旨として傾聴している。</p>	随時 面接時 間 1時間	ひこば え面接 室	2人	群馬県内 の一般女 性 (8件)
⑤ 相談員・ 支援員研 修事業	<p>↓ 相談員・支援員のための研修会 ・オリーブの家主催の「スキルアップ研修」（令和5年4月～令和6年3月）ひこばえは8月から受講 ひこばえは、令和5年8月から毎月1回参加。</p>	全8回	ひこば え事務 所及び ZOOM	3人	相談員・ 支援員 延30名



事業名	2023年度 面会交流部門 事業報告	実施 日時	実施 場所	従事人 数	受益対象範 囲及人数
	リーダー； 香山 恵子 サブリーダー； 新井 奈穂子 会計； 原野 宏美				
① 面会交 流のプ ロセス	2023年度の新規契約4件、再契約3件それ以外の継続6件 ① 母親と父親は別々に面接を実施した。 どのような面会交流の形態を希望するか、又いつ頃、どこで実施するかを決めた。 ② 面会交流調停を申請した人には、その調書を持参してもらい、父母双方の事情内容を反映させた「ひこばえ契約書」を作成した。 ③ 父と母の希望を聴き、契約書の内容の合意を図るために、何回かの面談をして確認をとった。その後、納得した父と母の双方はひこばえ契約書に署名捺印し、契約成立ができた。 ④ 契約成立後、その月内に第1回目の面会交流を実施した。 あらかじめ決められた場所で、決められた時間に集合し、支援員は子どもを引きうけてから、相手方に子どもを引き渡し、面会交流時間内を父と子に同行して、共に過ごした。 ⑤ 交流時間終了後は父と別れ、元の場所まで同伴して子どもを引き渡し、終了。 以後、毎月親と子どもの調整確認を行って、安全な面会交流を実施した。	随時 両親との調整で決定する。	ひこばえ事務所	5名	群馬県内外の元夫婦
おとうさん、ちょっと、うしろ むいてて。 (ある日の父と子の面会交流)					
					
② 支援 形態	非監護親と未成年者との面会交流の安全を見守るために、原則として未成年者1名につき2名の支援員が同行した。 2023年度の利用者は13名 内訳1時間同行支援・・・5名 2時間同行支援・・・3名(月2回1名) 1時間と2時間を交互に同行・・・1名 見守り支援 1時間30分・・・1名 引き渡し支援 1時間・・・・・・2名 ZOOMでの間接的面会交流(30分)・・・1人	随時 両親との調整で決定する	契約の際に決められた場所又は zoom ・元気 21 ・けやきウォーク ・こども公園 ・るなばあく ・いっちょう ・ガスト	9名	延べ 95件
③ 調整会 議	面会調整会議 同行支援者の支援日の調整と情報共有及び研鑽の場として毎月実施した。	毎月 第1金曜日	ひこばえ事務所	9名	



事業名	2023年度 DV 防止部門 事業報告	実施日時	実施場所	従事者	受益対象者 範囲及人数
	リーダー：平井仁美 サブリーダー：但馬加奈子 会計：小泉 幸子				
① DV 防止 講座事業	↓ デートDV防止プログラムの講座出張開催 ① 群馬県立医療福祉大学リハビリテーション科 ② 群馬県立高崎東高等学校 ③ ひこばえ関係者 ④ 群馬県立玉村高等学校 ⑤ 太田市立太田高等学校 ⑥ 太田市立旭中学校 ※「生協パルシステム群馬」の助成を受けて実施	6月30日 7月4日 10月23日 10月27日 10月31日 12月7日	各校の 体育館 前橋福 祉会館	2名 2名 1名 3人 3人 3人	80人 506人 15人 244人 260人 293人
② 加害者 プログラ ム事業	↓ 加害者更生教育プログラム・グループ ファシリテーター：茂木直子・今井雅巳・平井仁美 「DV加害者更生教育プログラム」は、女性や子ども達の支援のために実施している。 女性を「力で支配する目的」のために行う暴力は「DV」であり「自分が選択した行為である」ということに加害者が気づき、暴力の「責任を取る」こと、相手を尊重し、対等な関係を気付くことを目的に開催した。 アウエアのプログラムを使って、自分の問題について互いに話し合う自助グループ。 参加男性は、HPで調べて自ら来られた人と、妻に進められて来た人とに分かれるが、どちらかという、妻から別居されたり離婚されてしまってから、事の重大さに気づき「自分をコントロールしたい」「何とかしたい」と自ら来られる人が多かった。	毎月2回 (隔週土 曜) 14:30～ 16:30 延べ22回	ひこばえ研修室	2名	加害者 延62名
③ 加害者面 接	↓ 面接 担当：茂木直子・今井雅巳・平井仁美 グループに入る前に4回の面接を実施。 1回目・2回目 加害者面接、 3回目 妻の面接、 4回目 再び加害者面接をおこなう。 ・どんな加害行為があったのか？・いつ頃からか？ ・その怒りはどこから来たのか？・妻に対してどんな気持ちであったか？等々を聴いていながら、自分自身の今のありように気づいていくような面接を行った。	延べ24回	ひこばえ面接室	2名	加害者 延べ24名
④ 研修及び 部会	↓ DV研修会及びDV防止部会の開催 ・ひこばえ内での自主研修講座を開催した。 ・DV防止部会に所属する会員相互で、毎月1回実施。行事開催等の進行を含め、情報交換を行った。	10月23日 毎月第2 木曜日 10:00～	ひこばえ事務室	10名	



事業名	2023年度 心理研修部門 事業報告		実施日時	実施場所	従事人数	受益対象 予定範囲 及人数
心理研修部門	リーダー：柳田陽子 サブリーダー：山田明子・佐々木信子 会計：斎田久子					
①フォーカシング	◆「フォーカシング指向心理療法」(令和5年) 講師：茂木直子・小池順子(TFI認定フォーカシングプロフェッショナル) 自分自身のありのままを認めつつ「からだで感じられる実感」を信じ、自分として生きていくためのフォーカシングスキルを体験的に学んだ。 一日フォーカシング(10:00~15:30)1回と半日フォーカシング(10:00~12:30)を2回合計3回を1セットとして、5セットの初級コースを修了した。	4月~毎月隔週の火曜日 10:00~ 開催	ひこばえ 研修室	2名	群馬県内 希望者 延べ120名	
②女性専用無料LINE相談	◆女性専用無料LINE相談(自殺防止含む) 生きづらさを抱えた孤立しがちな若年女性とLINEで繋がり、寄り添いつつ次のステップに進む支援した。 ① LINE相談実施 実施日：火・木・土は第1第3のみ 時間：11:00~16:00 LINEメッセージ：延べ受信数630件 LINE通話回数：17件 ② 相談員の育成；月1回の勉強会実施。 日本ゲートキーパー協会自殺対策講座を各自受講。 ※県共同募金会福祉活動スタートアップ助成 ※2023年度県地域自殺対策強化事業費補助金 ※県DV被害者等セーフティーネット強化支援事業補助金	7月より開始 研修会は 6月より月 1回計10回 実施	ひこばえ 相談室	12名	群馬県内 希望者 延べ630件	
③自助グループ	◆自助グループ「しゃべり場」女性支援プログラム ファシリテーター 小泉幸子・高橋貴子・茂木直子 安全安心な場で、各々の体験を話し合うことで、過去、現在、未来の自己への気づきと理解を深化させる自助グループ。女性自身が力をつけDV等の被害を見極めるための「女性支援プログラム」を学んだ。日常で知らないうちにDVを認めてしまっていたことに気づいたという女性もいた。 ※県DV被害者等セーフティーネット強化支援事業補助金	毎月1回 第1土曜日 13:30~ 16:00	ひこばえ 研修室	3名	群馬県内の女性 実施回数 10回 延べ50名	
④研修	◆相談員。支援員質の向上のための研修 ①「LINE相談で見る「自殺防止」講師：伊藤三枝子 ②「発達から見た話の聴き方」講師：今井雅巳 ③「SDG'sについて」講師：富所哲平	4月5日 6月7日 7月24日	ひこばえ 研修室	10名 10名 15名	ひこばえ 会員、 相談員、 研修員	


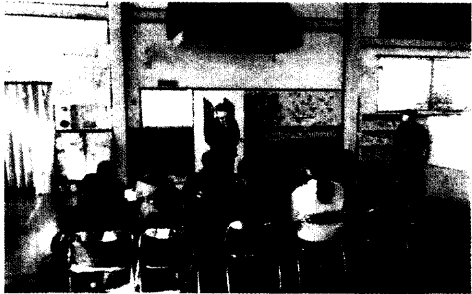


事業名	2023年度 自立支援部門 事業報告	実施日時	実施場所	従事者	受益対象者 範囲及人数
	<p>リーダー：今井直美 サブリーダー：松本晶子 会計：小泉幸子</p>				
① 安全安心 の場での 一時保護 事業	<p>↓ 一時保護事業シェルター「風のイスキア」の運営 生きづらさを抱えた女性や子ども達が、安全で安心して 過ごせる場所の提供。自立するまでの間、保護する施 設。生活用品は揃っているのので、何も持たずに入所でき る。専属の支援員がついて、精神面を支え、自立支援を おこなう。加害者からの追跡や、ストーカー被害等、緊急 を要する人達が、警察署、市町村の配偶者暴力相談支 援センター、地域包括支援センター、ひこばえ電話相談 などからの問い合わせで入所。 ※日工組社会安全研究財団の助成を受けて実施。</p>	随時	前橋風 のイスキア ・ 高崎風 のイスキア	8人	DV被害者 5名 同伴児 (者)5名
② 自立のため の同行 支援事業	<p>↓ 同行支援&相談 シェルターに入られた方の日常生活の支援。買い物、銀 行、病院への付添。警察や市役所での公的手続き。仕事探 しのためのハローワーク、家探しのための住宅公給公社や 不動産屋。離婚調停のための法テラスや弁護士相談、家庭 裁判所等その時々で必要とする場に同行。その時々被害 者の悩み相談を受け、支援した。</p>	随時	随所	8人	シェルター に入所して いる人及び 退所した人 延206名
③ クリスマス 会開催 &フード バンク等 の配布事 業	<p>↓ クリスマス会 シェルターに入っている方々や以前入っていた方々を招 待して、毎年バザーの売り上げを資金としクリスマス会 を開催していた。しかしコロナ禍のためここ数年開催で きななかった。今年度も寄付して頂いた化粧品や食料品等 にクオカードを添えてクリスマスプレゼントを作り、取 りに来られる方には来て頂き、遠方の方には発送した。 ↓ フードバンク等の配布 フードバンクや寄付をして頂いた食料品等をシェルター に入所している方や定着して生活している方に届ける。</p>	12月16日 ~24日 随時	ひこば え 事務所 随所	8人	シェルター に入所して いる人及び 退所した人 24人
④ 県委託地域 支援ネット ワーク事 業	<p>↓ 地域支援ネットワーク会議 中毛・西毛・北毛地区の市町村やハローワークのDV支 援に携わる方々に集まって頂き、被害者の方々により良 い支援ができるよう、情報交換会を毎年行ってきた。こ こ数年コロナ禍の為ZOOMで行っていたが、今年度は 前橋市総合福祉会館で各機関にお集まりいただき、意見 交換を行った。</p>	12月11日 (月) 13:30~	前橋市 総合福 祉会館	8人	参加者 16人





事業名	2023年度 渉外・広報部門 事業報告	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者範囲及人数
渉外・広報部門	リーダー：関口 美佐江 サブリーダー：川上 美智子 会計：齊田 久子				
① バザー事業	↓ バザー事業 *「前橋市中央公民館文化祭」参加。 フリーマーケット（洋服、玩具、食器、野菜の販売とパネル展示・ひこばえパンフレット配布 *勤福フェスタ フリーマーケット参加 前橋で活動する市民活動団体の様々な取組みを紹介。	10月21日・22日 11月23日	前橋市中央公民館 勤労福祉センタ	10名 5名	県内全域県民 一般市民
② 女性団体ネットワーク	↓ 群馬県女性団体連絡協議会 *ぐんま男女共同参画フェスティバル 対等平等な社会推進のため県民女性の意識向上への取組みとして開催。 *県行政への要望書、県教育委員会への要望書の提出。 男女共同参画社会実現のための指針検討 *新春講演会「ぐんまの5つのゼロ宣言」 講師：須田恵理子（グリーンイノベーション推進監・環境森林部長 ↓ 群馬ゾンタ祭り 女性と子どもの環境問題支援団体	7月13日 11月8日 2月8日	男女共同参画センター全館 男女共同参画センター4階		登録団体員及び一般市民 登録団体員 登録団体員
③ 連携事業	ひこばえ関係団体連携 *女性が元気になる映画会「ハリエット」 前橋市共生社会推進課男女共同参画共催 *フードバンク前橋 シェルター「風のイスキア」利用中の方々や退所して自立生活している方々に定期的に食料の配分を行った。 *内職紹介支援・・・株式会社丸進梱包との連携 イスキア入所者や退所者が仕事に慣れるためにやれる仕事を紹介した。	8月19日 随時	中央公民館ホール ひこばえ	6名 5名	県民100名 風のイスキア入所者、退所者
④ 支援事業	*お米・生理用品の配布 公益社団法人社会貢献支援財団、第一生命等からの寄付されたお米や生理用品、その他の品物を配布した。 *クリスマスプレゼント 化粧品とかお菓子、カード等を入れて、風のイスキアで支援した関係家族に届けた。 郵送した方もいる。	随時 12月18日以降 随時	ひこばえ ひこばえ	8名 6名	風のイスキア入所者、退所者26名 風のイスキア入所者、退所者
⑤ 広報活動	・広報活動としてHP作成（担当下田明英） ・フェイスブック・ツイッター	随時 随時			
⑥ 会員親睦	◇ひこばえの年間行事の企画運営等 ・総会（zoomで開催） ・新年会（会員対象）	5月26日 1月29日	前橋福祉会館・zoom	24名	会員



	2023年度 学習支援部門 玉村ひとり親家庭無料学習会 事業報告	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者及範囲人数												
	リーダー：石坂公俊 サブリーダー：石田由美子,栗原聡 会計：中島正俊																
体制	(主催) 一般財団法人 群馬県母子寡婦福祉協議会 (協力) 玉村町母子会 玉村町役場子ども課 認定 NPO 法人ひこばえ																
内容	<p>玉村在住のひとり親世帯の子どもたちに無料学習支援を行った。</p> <p>前半の学習時間は宿題を中心に、分からない宿題等を支援員と共に考えながらやった。後半の時間は遊び時間に費やされ、の続きでドッチボール等遊</p> <p>友達の話の聞いたり、居心地のよい時間が過ごせた。</p> <p>(進行の目安)</p> <table border="0"> <tr> <td>はじまりの会</td> <td>10:00~10:10</td> </tr> <tr> <td>学習活動(前半)</td> <td>10:10~10:40</td> </tr> <tr> <td>休憩</td> <td>10:40~10:50</td> </tr> <tr> <td>学習活動(後半)</td> <td>10:50~11:20</td> </tr> <tr> <td>今日のふりかえり</td> <td>11:20~11:40</td> </tr> <tr> <td>おわりの会</td> <td>11:40~11:50</td> </tr> </table>	はじまりの会	10:00~10:10	学習活動(前半)	10:10~10:40	休憩	10:40~10:50	学習活動(後半)	10:50~11:20	今日のふりかえり	11:20~11:40	おわりの会	11:40~11:50	土曜日 10:00~ 12:00まで (5月14日 ~2月25日 の期間の全 27回)	玉村町 西児童館	講師 20名	児童 14 名 6年7名 5年1名 4年1名 3年2名 2年2名 1年1名
はじまりの会	10:00~10:10																
学習活動(前半)	10:10~10:40																
休憩	10:40~10:50																
学習活動(後半)	10:50~11:20																
今日のふりかえり	11:20~11:40																
おわりの会	11:40~11:50																
	みんなでドローン体験 	玉村学習会開講式 															



	2023年度 無料学習部門 子どもの居場所・前橋教室 事業報告 ※赤い羽根共同募金会の助成を受けて実施	実施日時	実施場 所	従事 者の 人数	受益対象者 範囲及人数
	リーダー；田尻 真介 サブリーダー；矢嶋都志子 会 計 ；小柴真奈美				
内容	ひとり親家庭の子どもを対象とした「子どもの居場所・前橋教室」を新たに開設した。ひとり親家庭等の子ども達は、その生育環境により居場所が得られないこともある。勉強したり、遊んだり、ゲームをしたりしながら自由に楽しい時間をすごせた。遊びの中で自己主張しながら、自分の気持ちを伝えあえるようになった子どももいた。喧嘩しながらも、人との関係を作れるように支援員はサポートしていた。	土曜日 14：00～ 16：00まで	ラフアーキテクト佐田ビル3階（前橋市南町4-38-2）	講師 6名	生徒 7名
パソコン教室	*パソコン教室（全5回） 講師 松浦ひとみ オンライン操作の必要性から、保護者とボランティアが操作を覚えた。子どもとのコミュニケーションツールとしても良い方法が習得できた。	6/7, 8/9, 10/14 , 11/18, 1/20,	ひこばえ事務所	2名	10名
卒業パーティー	卒業パーティー（2024.03.16） 	2人の6年生を囲んで、思い出話をしながら、和気あいあいに過ごした。	ラフアーキテクト佐田ビル3階	2名	13名
音楽会	*ココロ🎵ミュージック 開催（2024.03.24） 	初めての音楽会 手拍子を入れたり、おなじみの曲を口ずさんだりしながら楽しい時間を過ごした。	ラフアーキテクト佐田ビル3階	2名	15名

3. 会議の開催に関する事項

事業 部門名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象者 範囲及人数
運営に 関する 事項	1 総会 第15回	2023年5月27日(土)	ひこばえ事務所及び	出席者 24名	ひこばえ 正会員
	2 理事会	10:30~12:30	zoom		
	第1回 総会に関する事項の審議	4月20日(土)	ひこばえ事務所	7名	理事
	第2回 次期理事の選出審議	10月11日(水)	ひこばえ事務所	7名	部門リーダー、サブリーダー、書記
	3 定例会	10:30~16:00			
	第1回①部会毎報告を順次行う。 ②高崎シェルターの移動。	4月24日(月)	ひこばえ事務所	6名	
	第2回①相談部会の勉強会講師の変更をした。 ②共同募金会の報告書提出。	5月22日(月)	ひこばえ事務所	8名	
	第3回①デートDV防止プログラムを2か所の学校に実施予定。 ②line相談を7月から始める。	6月26日(月)	ひこばえ事務所	8名	
	第4回①女連協フェスティバル盛会に終了。 ②セーフティネット事業決定した。	7月24日(月)	ひこばえ事務所	8名	
	第5回①SNS相談は通話料無料のラインとする。 ②相談員、支援員研修の日程が決まる。	8月28日(月)	ひこばえ事務所	12名	
	第6回①SNS相談は自殺防止のライン相談でもある。 ②中央公民館文化祭のバザー準備。	9月25日(月)	ひこばえ事務所	8名	
	第7回①相談員支援員研修の開催について ②各団体への補助金等の申請について	10月30日(月)	ひこばえ事務所	9名	
第8回①デートDV研修をひこばえが実施することを周知する。 ②クリスマス会のやり方について。	11月27日(月)	ひこばえ事務所	12名		
第9回①無料電話相談の在り方について検討。 ②ライン相談R6に向けて検討する。	12月25日(月)	ひこばえ事務所	11名		
第10回①デートDV防止事業来年度申請を行った。 ②今年度から定着支援事業の個人情報保護管理体制について毎年実地検査を県が行う。	R6年1月29日(月) 10:30~12:00	ひこばえ事務所	10名		
第11回①無料電話相談を今後月水金に変更する。 ②DV+事業の場所を今井町に変更したい。	2月26日(月)	ひこばえ事務所	8名		
第12回①子どもの居場所でコンサートを実施。 ②理事会、総会の日程を決める。	3月25日(月)	ひこばえ事務所	6名		

2023年度 活動計算書(報告書)

2023年04月01日～2024年03月31日(配賦)

認定特定非営利活動法人ひこばえ 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科目	金額	
1.経常増減の部		
(1)経常収益		
受取会費		
正会員受取会費	220,000	
活動会員受取会費	114,000	
賛助会員受取会費	160,000	
受取会費計		494,000
受取寄付金		
受取寄付金	1,211,630	
受取寄付金計		1,211,630
受取助成金等		
共同募金会助成金		
- 無料学習会	500,000	
- ライン相談	1,000,000	
前橋市パートナーシップ事業負担金		
- 渉外広報事業	50,000	
- シェルター(その他)	200,000	
群馬県補助金		
- シェルター(その他)	447,800	
- セーフティネット事業	1,509,000	
- ライン相談	507,000	
受取助成金		
- 日工組社会安全研究財団	600,000	
- 日工組社会安全研究財団(家賃)	100,000	
- 生協パルシステム	300,000	
- (公財)社会貢献支援財団	3,000,000	
受取助成金等計		8,213,800
事業収益		
参加費等事業収益		
- 相談事業	61,000	
- フォーカシング事業	175,000	
- しゃべり場	53,000	
- 渉外広報事業	231,460	
- シェルター(その他)	625,351	
- 面会交流事業	1,215,500	
- 加害者プログラム事業	253,000	
謝金等収益		
- 虐待・DV防止事業	129,030	
群馬県受託事業収益		
- 定着支援事業	972,000	
県母子会受託事業収益	381,320	
事業収益計		4,096,661
その他収益		
受取利息	17	
その他収益計		17
経常収益合計		14,016,108
(2)経常費用		
事業費		
【人件費】		
給料手当	1,570,000	
雑給	2,606,550	
通勤費	12,000	
【人件費計】		4,188,550
【その他費用】		
講師謝金	1,100,000	
会議費	7,730	

2023年度 活動計算書(報告書)

2023年04月01日～2024年03月31日(配賦)

認定特定非営利活動法人ひこばえ 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科目	金額	
旅費交通費	810,750	
通信運搬費	514,938	
消耗什器備品費	206,900	
消耗品費	526,976	
修繕費	27,500	
研修情報収集費	12,516	
印刷製本費	176,090	
車両費	210,938	
水道光熱費	195,535	
支払地代家賃	702,000	
賃借料	171,250	
保険料	59,898	
諸会費	64,571	
支払手数料	34,925	
租税公課	600	
雑損失	249,500	
【その他費用計】		5,072,617
事業費計		9,261,167
管理費		
【人件費】		
給料手当	540,000	
雑給	96,000	
通勤費	60,000	
【人件費計】		696,000
【その他費用】		
会議費	23,929	
交際費	11,370	
慶弔費	3,168	
通信運搬費	52,101	
消耗品費	4,777	
修繕費	3,498,000	
印刷製本費	187,948	
水道光熱費	120,000	
支払地代家賃	300,000	
保険料	4,500	
諸会費	14,000	
支払手数料	2,420	
【その他費用計】		4,222,213
管理費計		4,918,213
経常費用合計		14,179,380
当期経常増減額		-163,272
2.経常外増減の部		
(1)経常外収益		
経常外収益合計		0
(2)経常外費用		
経常外費用合計		0
当期経常外増減額		0
税引前当期正味財産増減額		-163,272
当期正味財産増減額		-163,272
正味財産期首残高		840,560
正味財産期末残高		677,288

財務諸表の注記

認定特定非営利活動法人 ひこばえ

(2023年度)

1、重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正
NPO法人会計基準協議会公表)N-books推進協議会によっています。

2、部門別損益の状況

部門別損益の状況は、別紙の通りです。

3、使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下のとおりです。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
学習会事業 共同募金会(前橋)	0	500,000	500,000	0	
LINE相談事業 群馬県共同募金会	0	1,000,000	1,000,000	0	
前橋市パートナーシップ事業 前橋市負担金	0	250,000	250,000	0	
DV被害者等シェルター設 置運営事業 群馬県補助金	0	447,800	447,800	0	2024年5月の入金予定ですので、 未収金として貸借対照表に資産 計上している。
DV被害者等セーフティネット強 化支援事業 群馬県補助金	0	1,509,000	1,509,000	0	2024年5月の入金予定ですので、 未収金として貸借対照表に資産 計上している。
地域自殺対策強化事業 (ライン相談) 群馬県補助金	0	507,000	507,000	0	2024年5月の入金予定ですので、 未収金として貸借対照表に資産 計上している。
デートDV防止事業 生協パルシステム群馬	0	300,000	300,000	0	
シェルター事業 日工組社会安全研究財団	0	600,000	600,000	0	
管理(家賃) 日工組社会安全研究財団	0	100,000	100,000	0	
管理運営 社会貢献支援財団	0	3,000,000	3,000,000	0	
合計	0	8,213,800	8,213,800	0	

4、借入金の増減内訳

借入金の増減は下記の通りです。

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	1,000,000	1,200,000	1,000,000	1,200,000

5、役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下のとおりです。

(単位:円)

科目	計算書類に計 上された金額	内役員及び近 親者との取引	科目	計算書類に計 上された金額	内役員及び近 親者との取引
(活動計算書) 受取寄附金	1,211,630	524,000	(貸借対照表) 短期借入金	1,200,000	1,200,000
雑給	2,702,550	1,621,550	貸借対照表計	1,200,000	1,200,000
活動計算書計	3,914,180	2,145,550			

2023年度 活動計算書（部門別損益内訳表）2023年04月01日～2024年03月31日（配賦）
 認定特定非常利活動法人ひこばえ 特定非常利活動に係る事業の会計

科目CD	科目名	相談部門	面会交流部門	DV防止部門	心理研修部門	自立支援部門
1.経常増減の部						
(1)経常収益						
受取会費						
6151	正会員受取会費	0	0	0	0	0
6161	活動会員受取会費	0	0	0	0	0
6171	賛助会員受取会費	0	0	0	0	0
受取会費計		0	0	0	0	0
受取寄付金						
6501	受取寄付金	0	0	0	0	0
受取寄付金計		0	0	0	0	0
受取助成金等						
6308	共同募金会助成金	0	0	0	1,000,000	0
6309	前橋市パートナーシップ事業負担金	0	0	0	0	200,000
6310	群馬県補助金	0	0	0	2,016,000	447,800
6313	受取助成金	0	0	300,000	0	600,000
受取助成金等計		0	0	300,000	3,016,000	1,247,800
事業収益						
6201	参加費等事業収益	61,000	1,215,500	253,000	228,000	625,351
6202	謝金等収益	0	0	129,030	0	0
6204	群馬県受託事業収益	0	0	0	0	972,000
6206	県母子会受託事業収益	0	0	0	0	0
事業収益計		61,000	1,215,500	382,030	228,000	1,597,351
その他収益						
6551	受取利息	0	0	0	0	0
その他収益計		0	0	0	0	0
経常収益合計		61,000	1,215,500	682,030	3,244,000	2,845,151
(2)経常費用						
【人件費】						
20	給料手当	0	0	0	970,000	600,000
22	雑給	5,300	700,750	189,500	754,000	688,500
49	通勤費	0	0	0	0	12,000
【人件費計】		5,300	700,750	189,500	1,724,000	1,300,500
【その他費用】						
51	講師謝金	0	0	310,000	745,000	0
60	会議費	0	0	0	7,730	0
70	交際費	0	0	0	0	0
72	慶弔費	0	0	0	0	0
80	旅費交通費	0	0	34,000	313,500	0
90	通信連搬費	162,526	49,230	0	59,516	160,790
100	消耗什器備品費	0	0	0	0	98,000
110	消耗品費	1,964	11,000	3,600	119,608	132,967
120	修繕費	0	0	0	0	27,500
131	研修情報収集費	0	0	0	9,104	1,370
140	印刷製本費	0	19,580	97,119	13,160	0
155	車両費	0	0	0	0	210,938
160	水道光熱費	0	0	0	0	195,535
170	支払地代家賃	0	0	0	0	702,000
175	貸借料	0	0	2,070	0	130,680
180	保険料	0	0	7,308	6,380	36,160
185	諸会費	0	0	10,000	0	20,000
195	支払手数料	0	165	0	330	33,385
200	租税公課	0	0	0	0	600
249	雑損失	0	0	0	0	249,500
【その他費用計】		164,490	79,975	464,097	1,274,328	1,999,425
経常費用合計		169,790	780,725	653,597	2,998,328	3,299,925
当期経常増減額		-108,790	434,775	28,433	245,672	-454,774
2.経常外増減の部						
(1)経常外収益						
経常外収益合計		0	0	0	0	0
(2)経常外費用						
経常外費用合計		0	0	0	0	0
当期経常外増減額		0	0	0	0	0
税引前当期正味財産増減額		-108,790	434,775	28,433	245,672	-454,774
当期正味財産増減額		-108,790	434,775	28,433	245,672	-454,774

科目CD	科目名	渉外広報部門	学習会部門	法人	合計
1.経常増減の部					
(1)経常収益					
受取会費					
6151	正会員受取会費	0	0	220,000	220,000
6161	活動会員受取会費	0	0	114,000	114,000
6171	賛助会員受取会費	0	0	160,000	160,000
受取会費計		0	0	494,000	494,000
受取寄付金					
6501	受取寄付金	0	0	1,211,630	1,211,630
受取寄付金計		0	0	1,211,630	1,211,630
受取助成金等					
6308	共同募金会助成金	0	500,000	0	1,500,000
6309	前橋市「パートナーシップ」事業負担金	50,000	0	0	250,000
6310	群馬県補助金	0	0	0	2,463,800
6313	受取助成金	0	0	3,100,000	4,000,000
受取助成金等計		50,000	500,000	3,100,000	8,213,800
事業収益					
6201	参加費等事業収益	231,460	0	0	2,614,311
6202	謝金等収益	0	0	0	129,030
6204	群馬県受託事業収益	0	0	0	972,000
6206	県母子会受託事業収益	0	381,320	0	381,320
事業収益計		231,460	381,320	0	4,096,661
その他収益					
6551	受取利息	0	0	17	17
その他収益計		0	0	17	17
経常収益合計		281,460	881,320	4,805,647	14,016,108
(2)経常費用					
【人件費】					
20	給料手当	0	0	540,000	2,110,000
22	雑給	178,500	90,000	96,000	2,702,550
49	通勤費	0	0	60,000	72,000
【人件費計】		178,500	90,000	696,000	4,884,550
【その他費用】					
51	講師謝金	0	45,000	0	1,100,000
60	会議費	0	0	23,929	31,659
70	交際費	0	0	11,370	11,370
72	慶弔費	0	0	3,168	3,168
80	旅費交通費	16,000	447,250	0	810,750
90	通信運搬費	11,374	71,502	52,101	567,039
100	消耗什器備品費	0	108,900	0	206,900
110	消耗品費	68,279	189,558	4,777	531,753
120	修繕費	0	0	3,498,000	3,525,500
131	研修情報収集費	0	2,042	0	12,516
140	印刷製本費	0	46,231	187,948	364,038
155	車両費	0	0	0	210,938
160	水道光熱費	0	0	120,000	315,535
170	支払地代家賃	0	0	300,000	1,002,000
175	賃借料	38,500	0	0	171,250
180	保険料	0	10,050	4,500	64,398
185	諸会費	34,571	0	14,000	78,571
195	支払手数料	330	715	2,420	37,345
200	租税公課	0	0	0	600
249	雑損失	0	0	0	249,500
【その他費用計】		169,054	921,248	4,222,213	9,294,830
経常費用合計		347,554	1,011,248	4,918,213	14,179,380
当期経常増減額		-66,094	-129,928	-112,566	-163,272
2.経常外増減の部					
(1)経常外収益					
経常外収益合計		0	0	0	0
(2)経常外費用					
経常外費用合計		0	0	0	0
当期経常外増減額		0	0	0	0
税引前当期正味財産増減額		-66,094	-129,928	-112,566	-163,272
当期正味財産増減額		-66,094	-129,928	-112,566	-163,272

2023年度 貸借対照表

2024年3月31日現在

認定特定非営利活動法人ひこばえ 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科 目	金 額		
資産の部			
流動資産			
現金	202,858		
ゆうちょ銀行	55,882		
ゆうちょ銀行振替口座	25,109		
未収金	1,643,000		
流動資産合計		1,926,849	
固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,926,849
負債の部			
流動負債			
未払金	27,561		
前受金	22,000		
短期借入金	1,200,000		
流動負債合計		1,249,561	
固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			1,249,561
正味財産の部			
正味財産期首残高		840,560	
当期正味財産増減額		-163,272	
正味財産合計			677,288
負債及び正味財産合計			1,926,849

2023年度 特定非営利活動に係る事業の会計 財産目録

2024年3月31日現在

認定特定非営利活動法人ひこばえ

(円)

科 目	摘 要	金 額		
資産の部				
流動資産				
現金		202,858		
ゆうちょ銀行		55,882		
ゆうちょ銀行振替口座		25,109		
未収金		1,643,000		
--その他		1,643,000		
流動資産合計			1,926,849	
固定資産				
固定資産合計				0
資産合計				1,926,849
負債の部				
流動負債				
未払金		27,561		
--その他		27,561		
前受金		22,000		
短期借入金		1,200,000		
--その他		1,200,000		
流動負債合計			1,249,561	
固定負債				
固定負債合計				0
負債合計				1,249,561
正味財産合計				677,288